

創刊五十年記念特輯 目次

創刊五十年記念特輯号刊行の辞	浅尾広良	1
天地と 共に久しく		
—— 卷四、五七八 大伴三依「悲別歌」をめぐる	鈴木利一	3
「宿世とをかりけるを」攷		
—— 河内本から見た「源氏物語」	浅尾広良	14
黒川本紫日記簡注(一六)	笹川博司	31
藁しべ長者と虻		
—— 『今昔物語集』 卷十六第28話を読む(二)	横田隆志	44
『平家物語』における那須与一の人物像の形成	四重田陽美	58
『高野物語』の歴史認識と作者説		
—— 北条泰時と醍醐天皇を中心に	大坪亮介	70
摘録 大阪大谷大学蔵『岩渕夜話』	高橋圭一	86
保田與重郎の萩原朔太郎論		
—— 酣燈社文庫『萩原朔太郎詩抄』	東典幸	93
那古寺蔵「繡字法華経」について		
—— 書芸文化の一形態とその伝来を巡って	宇都宮啓吾	108
教えない授業		
—— 「漢文」による主権者教育	稲垣裕史	120

.....	木下	みゆき	144
〔研究ノート〕形容詞述語文の過去形が完了事態の評価を表す時	大槻	美智子	159
——その条件と表現性——	.....	.....	(16)
初級日本語授業における授業構造の境界の示し方	樋口	裕子	174
——日本語教育実習生の課題を解決するために——	.....	.....	(1)
〈特別企画〉学科の半世紀に寄せて	.....	.....	.....
志学台の思い出	大谷	雅夫	177
大谷時代を振り返って	小林	健二	178
追想『大谷女子大國文』	阪口	和子	180
「宝石」の思い出	中嶋	隆	181
懐かしき大谷女子大学	森	博行	183
研究姿勢の転機	浅尾	広良	184
一九九七年の「国文学科」	東	典幸	186
大阪大谷大学食堂研究（抄）	稲垣	裕史	187
思い出——通信端末風味で——	宇都宮	啓吾	189
大阪大谷大学に着任して	大坪	亮介	190
断章	笹川	博司	192
学生達が連れて行ってくれる場所	鈴木	利一	193
私の訪書旅行	高橋	圭一	194

日本語教育コースの歩み……………	樋口裕子……………	196
『大阪大谷国文』五〇号に思う……………	四重田陽美……………	197
温かく、時に熱く……………	横田隆志……………	199
今もむかしも好きな場所……………	池田千尋……………	200
日文と私……………	柴田裕太……………	202
よく覚えていることって？……………	中池佐和子……………	203
国文学科の思い出……………	箱崎和代……………	205
日本語日本文学科（旧国文学科）半世紀の歩み……………		206
日本語日本文学科（旧国文学科）年表……………		218
『大谷女子大國文』『大阪大谷国文』総目録……………		220
令和元年度講義題目……………		241
平成三十年度日本語日本文学科卒業研究題目……………		243
平成三十年度大学院文学研究科国語学国文学専攻修士論文題目……………		244
受贈雑誌目録……………		245
〈あとがき〉……………		